

山形市

# 車両派遣で災害を 消防活動応援を

## コンクリ2団体と協定締結

山形市は27日、山形県コンクリート圧送協会（佐藤隆彦会長）および山形中央生コンクリート協同組合（渡邊英一理事長）と災害時における消防活動応援に関する協定の締結式を市役所庁議室で開いた。県内市町村と2団体の協定締結は初めてとなる。

協定内容は、山形市の消防本部管轄区域内（山辺町

渡邊理事長（左）、佐藤市長（中）、  
佐藤会長（右）



と中山町含む）での災害発生時に、山形県コンクリート圧送協会が所有するコンクリートポンプ車を活用した消火活動、山形中央生コンクリート協同組合が所有するコンクリートミキサー車を用いた消防用水の供給活動を、市から要請を受け

た場合には可能な限り車両を派遣して応援するというもの。

締結式には両団体と市職員から11人が出席し、3代表による協定書への調印が行われた。佐藤会長は災害発生時に建設業が活躍する場面が増えているとした上で、「有事の際にはコンクリートポンプ車を出動させ、少しでも市民やインフラを守っていきたい」と意気込みを述べた。渡邊理事長は「われわれは大型車両100台を確保している。万が一の場合には一丸となつて応援する」と力強く語った。

また、佐藤市長は「この協定締結は市民にとつて、とても心強いものとなるだろう」と期待を寄せた。